

「れんけいレポート」

まちのれんけいしつ
～地域連携室報告～

発行：河内長野市医師会地域連携室（まちのれんけい室）

令和元(2019)年10月・第48号

☆地域における“顔の見える”専門職の多職種連携の推進のために！ 顔の見える化活動

- (1)れんけいカフェ(偶数月の第4水曜日)の第20回は10月23日(水)、第21回は12月25日(水)、いずれも午後2時(会議)から開催予定(申込不要)。何かPRしたいことがあれば、事前に地域連携室迄連絡を！
- (2)10月23日(水)午後3時頃(れんけいカフェ終了後)に、第8回シリーズ【チラシ】れんけいカフェを不審者・特殊詐欺対応講習会として、河内長野警察署生活安全課の協力により開催予定。内容は不審者対応のイロハ(スマタの使い方等)、特殊詐欺の防止法など。<於・河内長野市医師会館3階>
- (3)11月14日(木)午後2時に、第9回シリーズ【チラシ】れんけいカフェを開催予定。内容は参加型研修会で、ACPの具体的実践に向けた専門職による「もしバナゲーム」を実施(別紙)。<於・河内長野市医師会館3階>
- (4)12月25日(水)午後3時頃(れんけいカフェ終了後)に、第3回シリーズ第2日目【チラシ】れんけいカフェを、昨年4月に続き、河内長野市介護保険課の協力により開催予定。内容は介護保険制度に関する懇談。
- (5)第46回在宅サロンは10月26日(土)午後2時30分から、有効なACPを行うための制度の再認識ということで、開催予定(別紙)。テーマは「高齢者、認知症患者をめぐる法的問題～成年後見のススメ～」で、講師は、近畿大学医学部精神神経科学教室の花田一志先生。<於・河内長野市医師会館3階>

※上記(2)(3)(4)(5)に参加希望の場合は、必要事項(医療機関名・TEL・FAX・氏名・職種)を書いて、地域連携室迄FAX(54-1567)にて要申込。

●第5回在宅サロン“ミニ”は、大阪府医師会救急医療週間行事の一つとして、9月29日(日)午前10時に開催。テーマは「いざ急変、まさかの時の〇〇〇！！～ブルーカードと任意後見～」。任意後見制度の説明、任意後見事例やブルーカードシステムの現状等の報告があった。なお、参加者には、CABD(心肺蘇生法)カードや絆創膏等が配られた。<於・河内長野市立市民交流センター(キックス)>

□河内長野市医師会認知症部会: 第6回9月4日(水)開催(於・河内長野市医師会地域連携室会議室)

「かかりつけ医のための認知症対応マニュアル」の編集作業が行われた。他に、経過報告、資料等の提示など。第7回は11月13日(水)午後2時から、地域連携室にて開催予定(別紙)。なお、8月26日(月)・9月30日(月)には、「おれんじチーム」のチーム員会議が開催された。

ブルーカード・ニュース・れもん通信(ともに、今月発行はなし)

☆ブルーカードシステム・終活の啓発活動 市民啓発に向けて

○日野ティパーティー:9月8日(日)開催(於・みのでホール) <高齢者の方はじめ約80名の参加>

本会から、ブルーカードシステムの概要、「ブルーカード」発行の対象者、救急医療の現状等の説明があるとともに、元気なハッピー終活のススメが強調され、「マイ・ノート」(河内長野市版エンディングノート)等が提示された。他に、高齢運転者問題、任意後見制度、熱中症対策等についてのアナウンスがあった。

☆「終活」に関するお知らせ☆ ~ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の愛称は、「人生会議」に~

①今般、従来のガイダンス内容を包含した、新「マイ・ノート」(河内長野市版エンディングノート)を10月8日(火)に刊行予定。これは、終活・ACPを進めていくためのツールの一つで、元気な(ハッピー)終活の心構えや遺言、相続、任意後見、(断)捨離(シャリ)の説明などの後、マイ・ノート(エンディングノート)が登場する構成になっている。希望の場合は、地域連携室迄連絡を！ 【ACP】の具体的実践に向けたプロlogue

②大阪府立大学人間社会システム科学研究所「ハッピーエンドを語る会」特別企画「府大生と語る会」

○9月 12 日(木)開催:グループに分かれての「ワールドカフェ」(ディスカッション)と「もしバナゲーム」が行われた。前者のテーマは、「昭和の若者 平成の若者」で、コミュニケーションの取り方の相違など、世代間の気質の違いが鮮明になった。(於・大阪府立大学A4棟 401 教室) **ACPの具体的実践に向けたプロローグ**

③富田林保健所との懇談は、9月5日(金)開催。市民啓発の重要性等についての意見交換があった。特に、永井所長からは、高齢者の結核罹患問題に関する意見開陳があった。<於・富田林保健所所長室>

●第1回 **まちのれんけい室セミナー**(個別無料相談会付)は、本会・河内長野市民大学くろまろ塾の認定講座として、主に市民対象で、10月8日(火)午後2時から開催予定。テーマは、「有効なACPを行うためのハッピーワンループのススメ エンディングノートと任意後見」で、後に相談会(後見・相続のことなど)も併せて実施予定。 <於・ノバティホール> **市民啓発に向けて**

●第1回 **まちのれんけい室市民相談会 α**は、11月6日(水)午前10時から午後4時迄開催予定。相談会 αは、市民向けの医療、介護、福祉、法務の個別無料相談会で、事前予約もOK! ちなみに、第2回は12月4日(水)、第3回は来年1月8日(水)の予定。<於・河内長野市医師会地域連携室> **市民啓発に向けて**

◇**河内長野市市民保健部との懇談**:9月 10 日(火)。今後の展開等について。なお、9月4日(水)には、介護保険制度に関して、浦山、三島両議員との懇談を行った(於・河内長野市医師会地域連携室)。

□**大阪市こころの健康センター市民講座**:(於・大阪市こころの健康センター3階大会議室)

○「ギャンブル等依存症ってどんな病気?」:9月3日(火)。ギャンブル等(パチンコ含む)依存症の現状、症状、治療法、IR(統合型リゾート)問題、大阪精神医療センターの取組み等について縷々説明があり、質疑応答。講演の入来先生からは、「治療は共同作業で、仲間がいる。色々と連携していきたい」旨の発言があった。

□**大阪府在宅医療総合支援事業研修会(大阪府医師会)** **ACPの具体的実践に向けたプロローグ**

○在宅療養における看取り等研修会(大阪南部ブロック向け):9月 25 日(水)開催(於・ホテルアゴーラリージェンシー)
岡原和弘副会長(堺市医師会)の挨拶、大阪府における死因調査体制の整備状況(大阪府健康医療部)や救急隊の活動状況(堺市消防局)の報告の他、在宅医療での看取りと死亡・死因診断、死後診察についての講演があり、質疑応答。その中で、在宅医療(特に末期)の基本は、「毎日対応」とされ、毎日の対話の中にACPの極意があるとされた。他に、看取り現場への救急車出動要請に対しては、慎重な対応が求められた。

☆【Topics】

○「動物虐待 #7122」:大阪府で10月から、動物虐待の通報や相談をワンストップで受け付ける共通相談窓口を開設。ここは担当者が犯罪と判断すれば大阪府警察本部に連絡し、そうでなければ行政で対応するとしている。「おおさかアニマルポリス#7122(悩んだら・わん・にやん・にやん)」。

○「もしバナゲーム」:「人生の最期にどうありたいか」、これは、誰もが大切なことだとわかっているが、何となく避けている話題だろう。このゲームは、ACPの考え方を理解するために、そういう難しい話題などを話し合えるようになっている。1セットには36枚のカードが入っており、そのうち35枚には、重病の時や死の際に「大事なこと」として人がよく口にする言葉、即ち「どのようにケアして欲しいか」や「誰にそばにいて欲しいか」、或いは「自分にとって何が大事か」といった内容などが書かれている。<その2>

☆**河内長野市医師会地域連携室** <TEL: 54-1700 FAX: 54-1567>

(まちのれんけい室)

<メールアドレス: chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com>

令和元年10月1日(火)

会員各位

一般社団法人河内長野市医師会

会長 中林才治

理事 宮崎 浩

第7回河内長野市医師会「認知症部会」の開催について

謹啓 秋霖の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

業務ご多端の折、誠に恐縮ではありますが、下記の通り「認知症部会」を開催いたしたいと存じますので、ご出席を賜りますよう、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

なお、参加の事前申込みはございません。当日直接、地域連携室会議室までお越し下さい。
謹白

記

☆日 時 11月13日(水)午後2時～(約1時間の予定)

☆場 所 河内長野市医師会地域連携室会議室(河内長野市菊水町2-13)

☆次 第 1. 開会・挨拶

(予定) 2. 報告・連絡

3. 検討(事例検討など)

4. 確認・協議

5. その他

6. 閉会

※駐車スペースあります。

☆連絡先：河内長野市医師会地域連携室

TEL 0721-54-1700

FAX 0721-54-1567

メール chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com

第9回シリーズ

「フチれんけいカフェ」(フチカフェ)

～ACPの具体的実践のためのプロローグ研修～

もしバナゲームを通してACP（アドバンス・ケア・プランニング＝人生会議）を実践してみましょう！！

☆「人生の最後にどう在りたいか」、多くの人が大切とわかっているながら、なんとなく避けて通っている話題です。「もしバナゲーム」は、あなたと大切な誰かがそんな「もしものための話し合い（＝もしバナ）」をする、そのきっかけを作るためのゲームです。ゲームを通じて、人生において大切な価値観や、自分自身のあり方について、様々な気づきを得ることができます。ゲームは、亀田総合病院（千葉県鴨川市）の蔵本浩一医師が開発しました。



<開催日時> 要予約(FAXにて申込み)

令和元年11月14日（木）午後2時～3時

※必要事項（氏名、医療機関名、TEL、FAX）を書いて、下記宛FAXにてお申込み下さい（様式自由）。

※「参加証」の発行はありません。当日はそのままお越し下さい。

<開催場所> 河内長野市医師会館3階会議室

<定員> 30名

<連絡先> 駐車スペースあります

河内長野市医師会地域連携室（まちのれんけい室）

河内長野市菊水町2-13 TEL 0721-54-1700・FAX 0721-54-1567